

「主要道路ネットワーク」全域図

レジリエンスネットワーク

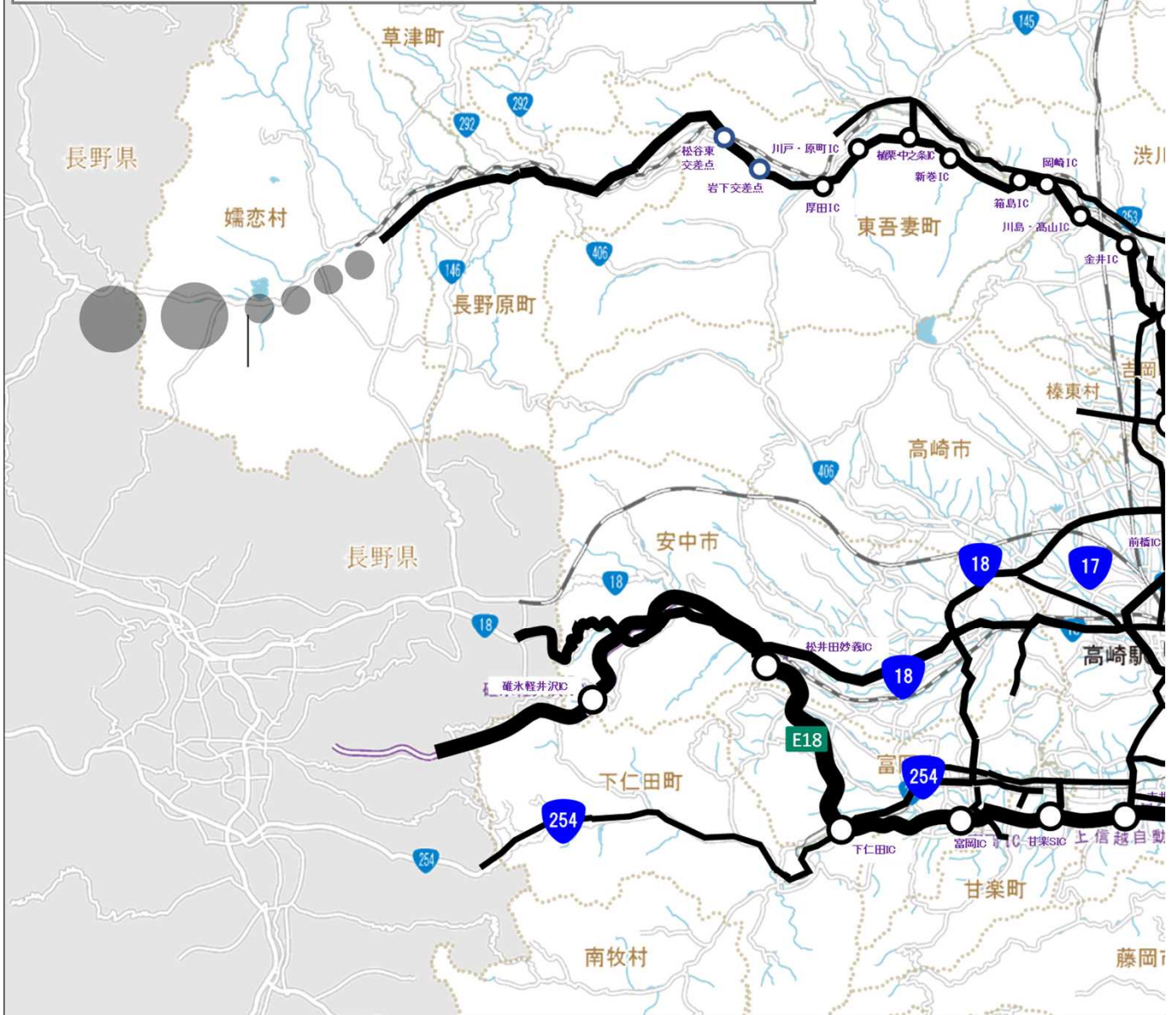
災害時にも迅速な救命救助や支援物資輸送、経済活動の継続性を確保するため、広域幹線道路と幹線道路から防災・物流拠点集積エリア内の主要拠点を結ぶネットワーク

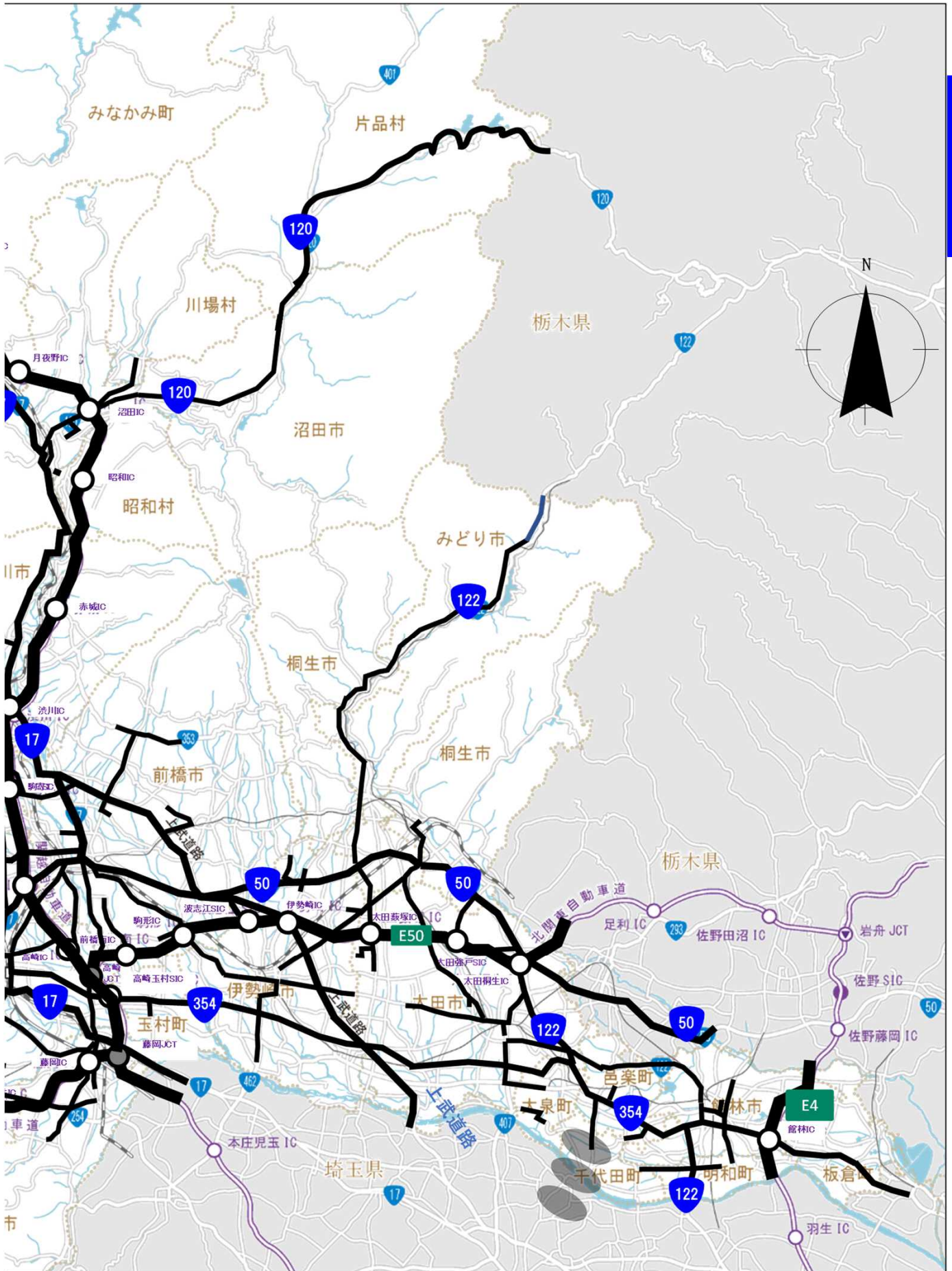
広域道路ネットワーク

活力あるぐんまの経済活動を支える、高速交通網のストック効果を県内すべての地域や産業の発展に活かすための広域的な道路ネットワーク

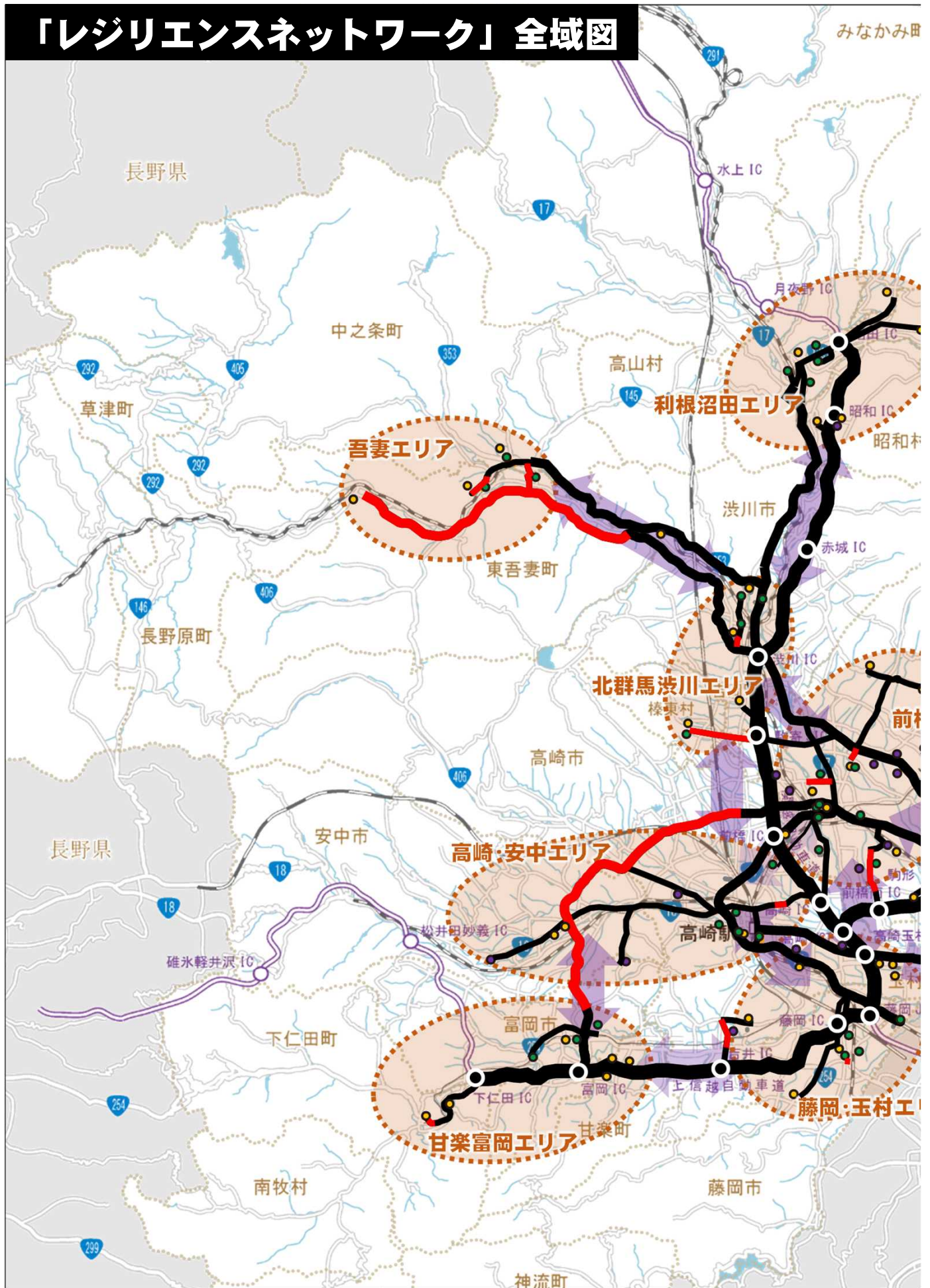
まちのまとまりをつなぐ道路

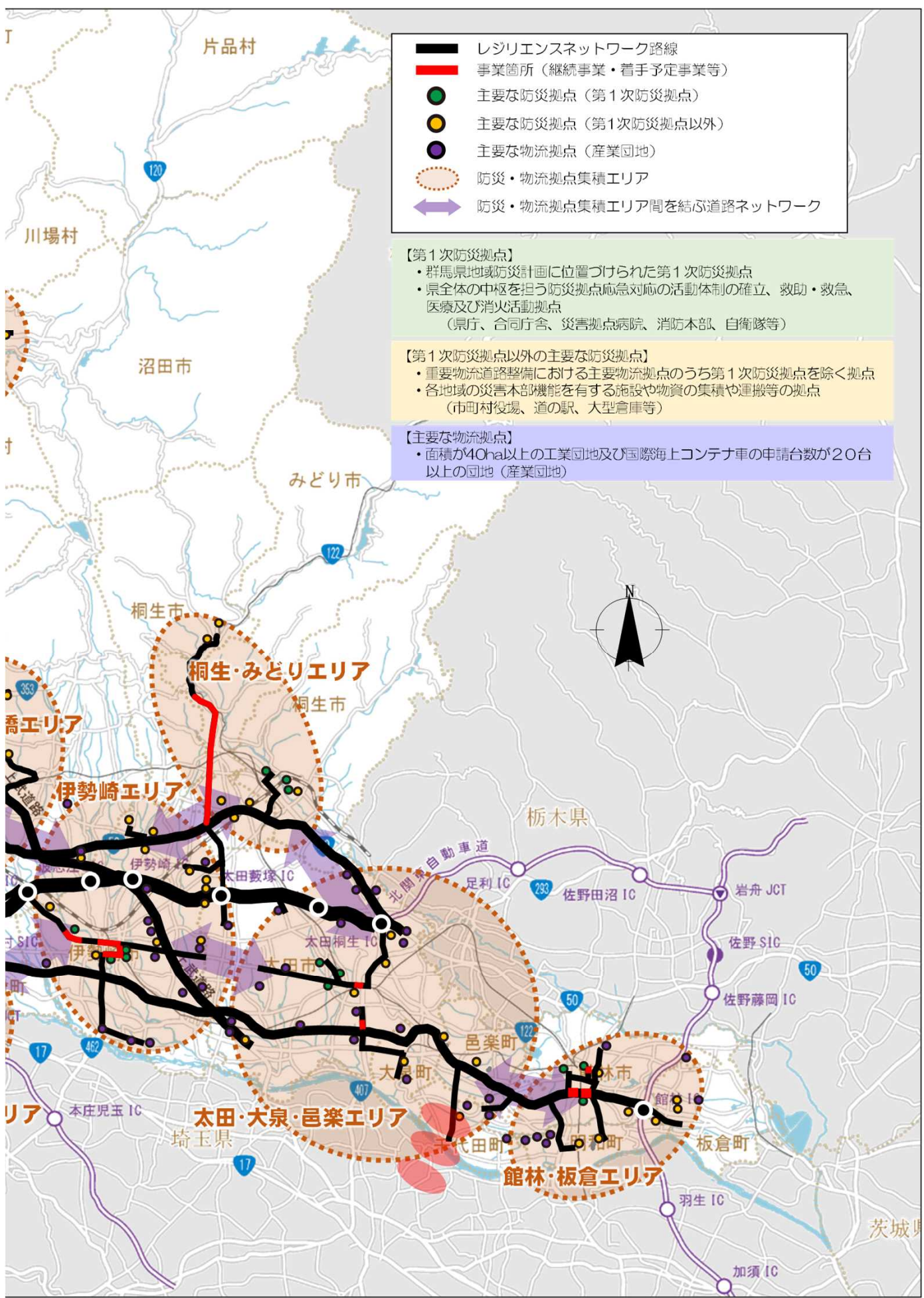
将来にわたって誰もが生活に必要なサービスを持続的に享受できるよう、市町村間で都市機能を相互に利用・補完するために、広域圏の中心となる都市と隣接市町間や、医療・福祉・商業等の都市機能の集約を促す「都市機能誘導区域」間をつなぐ幹線道路ネットワーク





「レジリエンスネットワーク」全域図





- レジリエンスネットワーク路線
- 事業箇所（継続事業・着手予定事業等）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（第1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）
- 防災・物流拠点集積エリア
- 防災・物流拠点集積エリア間を結ぶ道路ネットワーク

【第1次防災拠点】

- ・群馬県地域防災計画に位置づけられた第1次防災拠点
- ・県全体の中核を担う防災拠点応急対応の活動体制の確立、救助・救急、医療及び消火活動拠点
(県庁、合同庁舎、災害拠点病院、消防本部、自衛隊等)

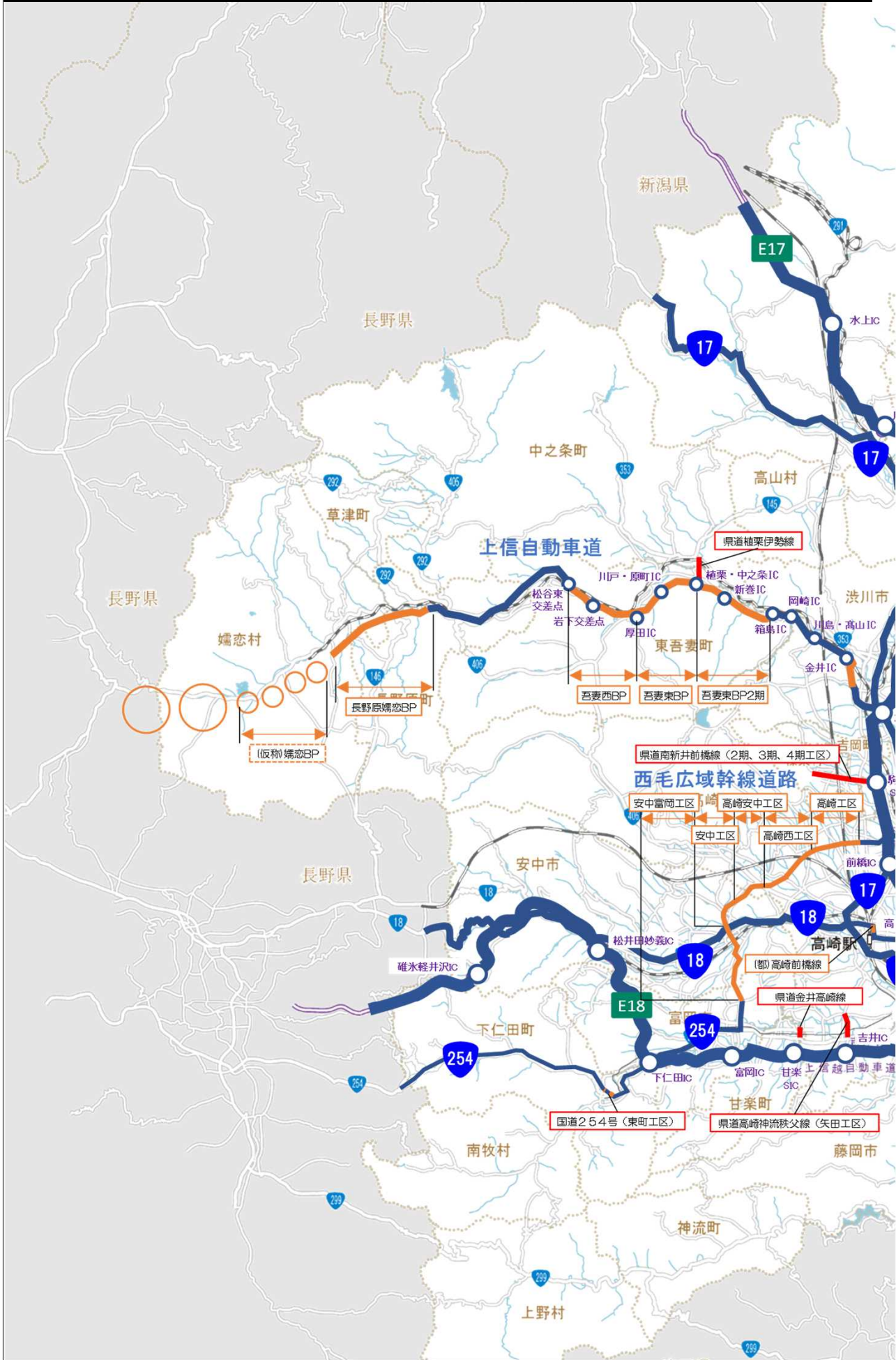
【第1次防災拠点以外の主要な防災拠点】







- ・重要物流道路整備における主要物流拠点のうち第1次防災拠点を除く拠点
- ・各地域の災害本部機能を有する施設や物資の集積や運搬等の拠点
(市町村役場、道の駅、大型倉庫等)

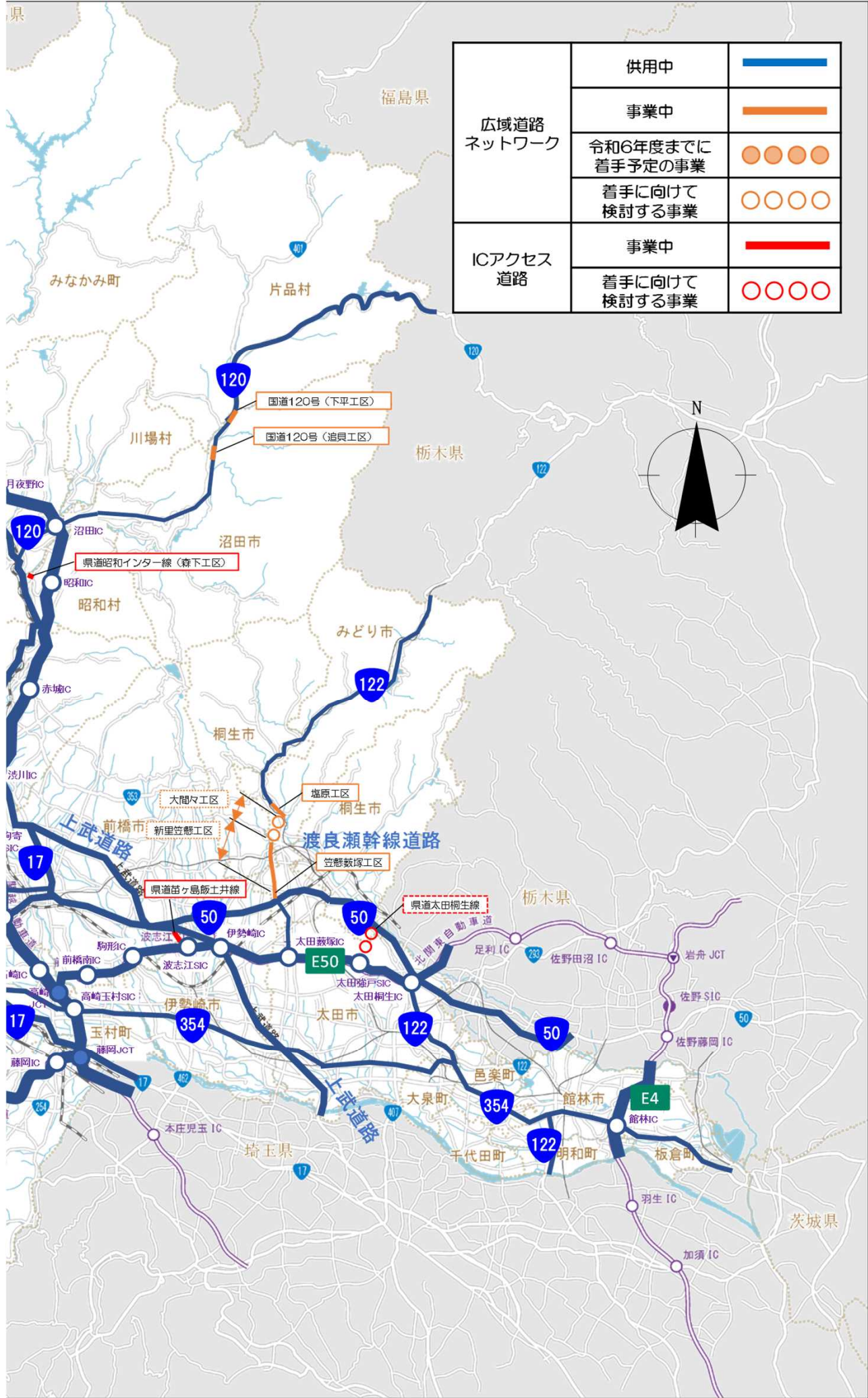
【主要な物流拠点】

- ・面積が40ha以上の工業団地及び国際海上コンテナ車の申請台数が20台以上の団地（産業団地）

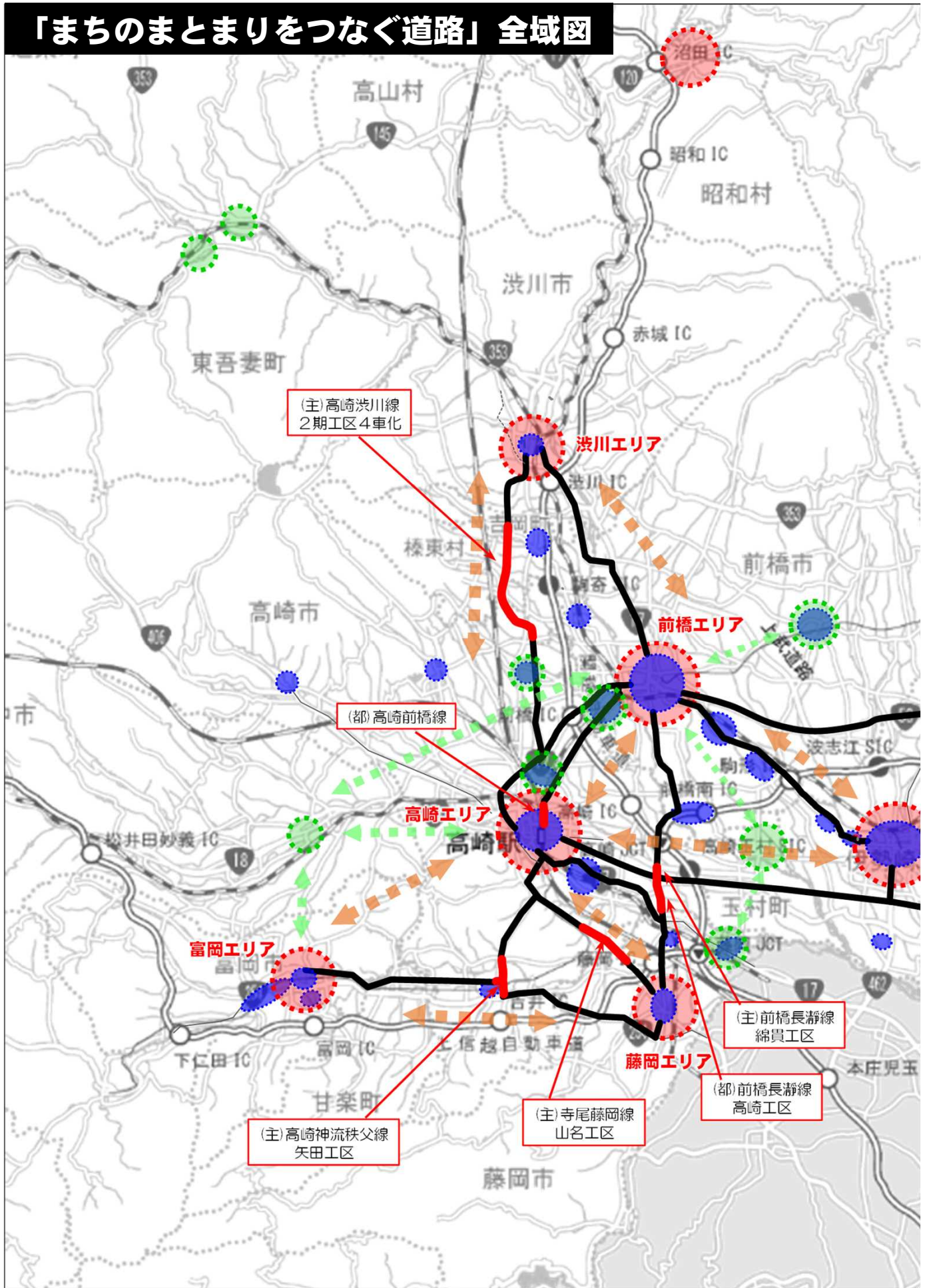
「物流の効率化と観光振興を支える道路ネットワーク」全域図 (広域道路・高速ICアクセス道路)

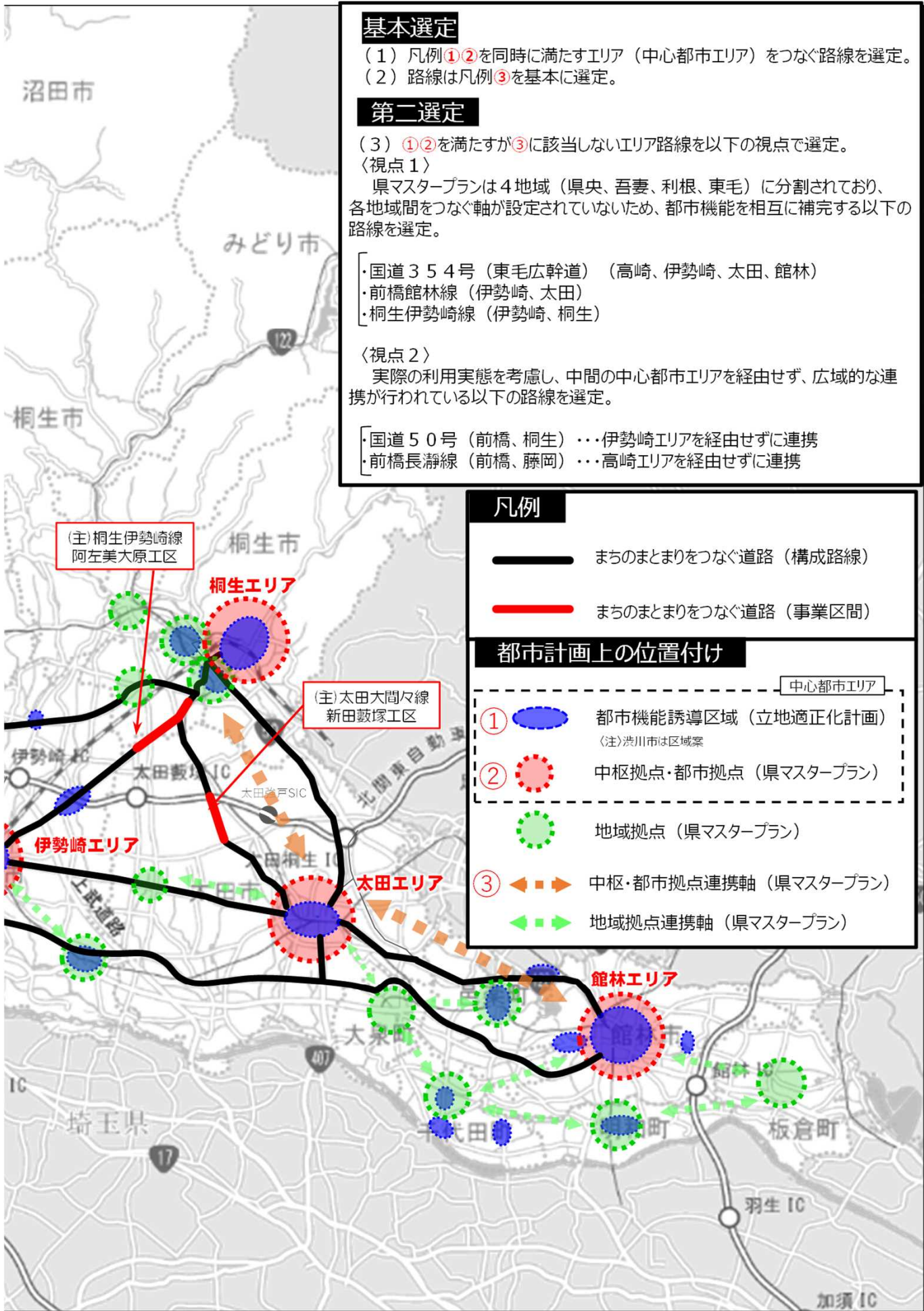


広域道路ネットワーク	供用中	
	事業中	
	令和6年度までに着手予定の事業	
	着手に向けて検討する事業	
ICアクセス道路	事業中	
	着手に向けて検討する事業	



「まちのまとまりをつなぐ道路」 全域図





基本選定

- (1) 凡例①②を同時に満たすエリア（中心都市エリア）をつなぐ路線を選定。
- (2) 路線は凡例③を基本に選定。

第二選定

- (3) ①②を満たすが③に該当しないエリア路線を以下の視点で選定。
- 〈視点1〉
県マスタープランは4地域（県央、吾妻、利根、東毛）に分割されており、各地域間をつなぐ軸が設定されていないため、都市機能を相互に補完する以下の路線を選定。

- ・国道354号（東毛広幹道）（高崎、伊勢崎、太田、館林）
- ・前橋館林線（伊勢崎、太田）
- ・桐生伊勢崎線（伊勢崎、桐生）

- 〈視点2〉
実際の利用実態を考慮し、中間の中心都市エリアを経由せず、広域的な連携が行われている以下の路線を選定。

- ・国道50号（前橋、桐生）・・・伊勢崎エリアを経由せずに連携
- ・前橋長瀬線（前橋、藤岡）・・・高崎エリアを経由せずに連携

凡例

- まちのまとまりをつなぐ道路（構成路線）
- まちのまとまりをつなぐ道路（事業区間）

都市計画上の位置付け

- 中心都市エリア
- ① 都市機能誘導区域（立地適正化計画）
〈注〉渋川市は区域案
 - ② 中枢拠点・都市拠点（県マスタープラン）
 - 地域拠点（県マスタープラン）
 - ③ 中枢・都市拠点連携軸（県マスタープラン）
 - 地域拠点連携軸（県マスタープラン）